

# 我が社の取組公開します！

令和2年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」  
受賞企業・事業所等の取組紹介

- | No. | 表彰企業・事業所・団体名（市町村）           |
|-----|-----------------------------|
| 1   | 一般社団法人 青森市薬剤師会（青森市）         |
| 2   | 株式会社 ヤマイいと福（青森市）            |
| 3   | 社会福祉法人鶴松会 特別養護老人ホーム鶴松園（鶴田町） |
| 4   | 社会福祉法人千年会 障害者支援施設 千年園（弘前市）  |
| 5   | 株式会社 木村食品工業（平川市）            |
| 6   | プロジェクトおおわに事業協同組合（大鰐町）       |
| 7   | 社会福祉法人 開成会 十和田つくし保育園（十和田市）  |
| 8   | 有限会社 カワシタ電業（むつ市）            |
| 9   | 田村商事株式会社（むつ市）               |
| 10  | 株式会社 八幡馬（八戸市）               |
| 11  | 株式会社 山匠電気工業（八戸市）            |
| 12  | 日本ユニシス株式会社 東北支店（仙台市）        |
| 13  | KDDI 株式会社 東北総支社（仙台市）        |

# 1 一般社団法人 青森市薬剤師会（青森市）

## 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

### 《職場体験》

お菓子をくすりに見立てて、計量や混合、分包や粉碎などの調剤、薬の効能や使い方を説明する模擬体験を行っています。

- R1 青森市立三内中学校（13）
- 青森市立南中学校（8）
- 青森市立造道中学校（3）
- 青森市立甲田中学校（3）
- 青森市立油川中学校（2）
- 青森市立筒井中学校（2）
- 青森市立西中学校（6）

### 《出前授業・職業講話》

くすりに関する正しい知識をクイズにして説明しています。また、薬剤師の仕事ややりがい、個々が社会で働くことの重要性についても理解していただくようにしています。

- R1 青森市立造道中学校（51）
- 青森市立浪打中学校（32）
- 青森市立南中学校（51）

## 3 工夫している点

本会に当該活動の依頼が来た際には、「くすり」をより身近なものに感じてもらうため、開催地区近隣に勤務する会員薬剤師へ協力を要請しています。

また、当該活動の依頼については、本会を通さず直接会員薬剤師へ依頼されている場合もあります。この場合でも、活動後にその内容を本会に報告する体制を整備しており、会報等で他の会員薬剤師にもフィードバックしています。さらに、活動で使用した資料なども提供してもらい、本会で保存することで、後の活動の参考となるようにしています。

## 2 目的、方針や社内の組織・体制

くすりは、人の健康を害する疾病に対し非常に有効かつ重要なアイテムであるとともに、その使い方を誤ることで人体にとっても大きな健康被害をもたらすこともあることから、小・中学生の頃から少しずつくすりに対する理解を深めることで、健康寿命の延伸に寄与することを念頭に置いて活動しています。

また、本会は東青地区に点在する約150件の薬局または病医院などに勤務する薬剤師ら約400名の協力を得て、各地域で薬育支援活動を行っています。

## 2 株式会社 ヤマイいと福（青森市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

生徒一人一人にベテランの店員が直接指導して、様々な和菓子づくりを体験させています。

- R1 青森市立東中学校（11）  
青森市立甲田中学校（6）  
青森市立沖館中学校（7）  
青森市立南中学校（7）  
今別町立今別中学校（1）  
青森県立青森中央高等学校（6）



職場体験の様子

### 3 工夫している点

職場体験では学校の担当者と事前の打ち合わせを行い、その内容を社員で共通理解を図っています。

また、体験終了後には質問コーナーを設け、子どもたちからの感想や意見等を聞くことで、その内容を次回の活動に生かすようにしています。

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

当社の製造品が広く市民に行きわたり、昔ながらの津軽の和菓子の文化を広めるよう努めています。

彼岸・ひな祭り・お盆・5月節句・年末・正月等に、お供え用・祝い事用等の日本の文化を子どもたちに伝えながら、和菓子づくりに誇りをもって取り組んでいます。

### 3 社会福祉法人鶴松会 特別養護老人ホーム鶴松園（鶴田町）

#### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

##### 《職場体験》

車いすによる移動や、飲み物や食事の介助、シーツ交換など、日常行っている活動を体験させ、高齢者や福祉への理解を深めていただくようにしています。

R1 鶴田町立鶴田中学校（5）

H30 鶴田町立鶴田中学校（5）



職場体験の様子

#### 3 工夫している点

体験前に施設及び設備についての説明を丁寧に行っています。

また、あらかじめ決めておいたプログラムにこだわらず、生徒の心情を察して、こちらから上手に指示を出し、スムーズに活動が進むよう支援しています。

生徒に対しては、明るく大きな声での挨拶や話す際の目線・口調など、利用者だけでなく人と接する上での態度等にも気をつけるよう指導しています。

#### 2 目的、方針や社内の組織・体制

福祉施設として、地域住民との関わりを大事にしており、見学や体験学習・実習などの受け入れを積極的に行っています。

職場体験における生徒の受け入れについては、担当職員が教える立場になる事で、仕事への取組み姿勢が向上し、生徒も体験学習を通して高齢者や福祉への理解を深めてくれることを目的として、取り組んでいます。

## 4 社会福祉法人千年会 障害者支援施設 千年園（弘前市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

福祉機器を操作したり、嚥下食などを試食してもらうなど、活動に親しんでもらいながら、福祉について理解していただいています。

- R1 青森県立弘前南高等学校（10）  
弘前学院中学高等学校（24）  
弘前市立相馬中学校（2）

※その他介護職員初任者研修なども受け入れています。



職場体験の様子

### 3 工夫している点

職場体験や実習の受け入れの際は、事前に担当部署で体験及び実習等の内容確認、担当者の計画の作成を行っています。体験、実習終了時には必ず生徒とのミーティングを行い、その日の疑問などを解決しています。

また、「Partnership カード」を活用し、その記載内容やミーティングでの内容などは、我々の業務にもフィードバックし業務改善等に生かしています。

さらに、学年などに合わせた体験可能な業務を小冊子（福祉のお仕事体験2020）にまとめ、学校などに配布しています。

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

「私たちは、一人ひとりの人権を尊重し、障害者福祉の向上に努めます」を理念に掲げ、地域に住む障害のある方が安心して暮らせるよう、地域社会と連携し地域福祉の向上を目指しています。

運営している障害者支援施設千年園では、重度の身体障害者で常時介護と福祉サービスを必要とする方が、心身ともに健やかに育成され、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢、身体の状況に応じ地域において必要な福祉サービスを総合的に提供されるよう援助することを目的として活動しています。

## 5 株式会社 木村食品工業（平川市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

商品ができるまでの一連の流れを体験することで、実際スーパーに並んでいる商品への理解を深めていただいています。

- R1 青森県立柏木農業高校（3）  
青森県立黒石高等学校（3）  
平川市立尾上中学校（2）

※その他工場見学も受け入れています。

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

- ① 学生に対する当社の存在アピール
- ② 学生の労働に対する意識向上
- ③ 地域への就職が地域の発展につながる

これらのことを念頭に置いて活動をしています。

丼に冷凍りんご 弘大生開発の新メニュー誕生  
投稿日：2019年7月1日



弘大生と共同開発のリング丼

### 3 工夫している点

事前の打ち合わせで、活動の目的を確認し、それに合わせて活動内容を検討しています。また、生徒に対しては従業員から声かけをすることで、緊張感を解きほぐし、質問に対してはその都度答えるようにしています。

口頭による説明や写真スライドの投影だけでなく、動画で撮影したものをスクリーンに投影し、実際に工場見学しているような雰囲気味わってもらい、仕事内容について理解していただいた上で、活動に取り組んでいただいています。

## 6 プロジェクトおおわに事業協同組合（大鰐町）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

「ホスピタリティ世界一」を目指す「鰐 come」での朝礼、あいさつ、おもてなし、笑顔の重要性についてミーティングし、その後はなるべく多くの職種を体験させていきます。

R1 青森県立弘前実業高等学校（3）  
青森県立柏木農業高等学校（2）  
柴田学園高等学校・弘前東高等学校  
（23）

#### 《出前授業》

大鰐小学校への出前授業では、町の歴史や文化、伝統野菜のブランド化の意味、地域おこし活動の必要性等を、分かりやすく説明しています。

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

大鰐町は長い間財政難で疲弊し、町の将来への不安を感じていました。

そこで、我々民間企業が児童生徒に対してキャリア教育を行うことで、子ども達へ「ふるさと愛」を伝え、町活性化のニューリーダーを育成する事を目的として活動しています。



販売体験の様子

### 3 工夫している点

職場体験やインターンシップでは、学校側と事前に参加する生徒の情報をいただき、体験スケジュールを組み立てています。また、実際に生徒が活動する時には学校職員に来ていただき、状況確認をしていただいています。

小学生の OH!!鰐 元気隊キッズの活動では、児童6～7名に対し、社員又はスタッフ2名が1グループとなり、毎月町内の観光地やJR駅、弘南鉄道各駅、高速道バス停等の清掃を行っています。その際、子ども達には町のポジティブな情報を伝え、愛と希望を与え、将来の大鰐町を背負って立つリーダーが育っていくことをイメージしながら、子ども達とコミュニケーションをとることを心がけています。

## 7 社会福祉法人 開成会 十和田つくし保育園（十和田市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

保育士の仕事の様子を見ていただくとともに、子どもたちと触れ合いながら、園児に対する対応や声掛けなどを学んでいただいています。

- R1 青森県立三本木高等学校（30）  
青森県立十和田西高等学校（1）  
十和田市立十和田中学校（23）



職場体験の様子

### 3 工夫している点

事前に職員会議等で、受け入れ時の職員の心得について共通理解を図っています。また、活動終了後には全職員で活動の振り返りを行い、活動の反省点を踏まえ、次の受け入れの際に生かすようにしています。

インターンシップや職場体験の際には、園児との関わりの時間が十分とれるようなプログラムを作っています。

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

保育園の仕組みや職員の専門性を伝えながら、子ども達が現在おかれている社会情勢などにも関心をもってもらい、体験した生徒には、保育士を将来の仕事の選択肢の一つとして考えてもらえるよう取り組んでいます。

## 8 有限会社 カワシタ電業（むつ市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

一日目は会社概要と安全作業についての学習、二日目は現場見学・配線工事を中心に現場体験、三日目はCAD操作で図面作成を行うなど毎日のプログラムを計画立てて活動をさせています。

H16～R1

青森県立むつ工業高等学校（2）

H28 佐井村立佐井中学校（2）

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

インターンシップを受け入れ、生徒を指導することによって、社員自身の成長を促し、社員一人一人の指導力を向上させることで、会社全体の活性化につながっています。

また、実際の現場で配線工事等を体験してもらうことで、電気工事について関心を持っていただき、将来は地元で働き、むつ市の経済発展のために寄与する人財を育てたいと考えています。

### 3 工夫している点

- ・働くことの大切さ、なぜ働かなければならないか等についての講話や就業体験
- ・実践指導（現場での配線、高所作業車に乗っての昇降体験、CAD、パソコンでの資料づくり等）
- ・工事士免許の必要性についての指導
- ・安全に対する教育（災害防止、安全衛生等）
- ・実習後、生徒からのお礼や学校からの記録集をいただき、社員全員で回覧し、今後の業務の参考にしています。

## 9 田村商事株式会社（むつ市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《職場体験》

活動する際には、なるべく多くの体験をしてもらうことを意識し、一つ一つの活動が大きな財産になるよう、業務に支障のない範囲で様々な体験をさせています。

R1 むつ市立田名部中学校（2）  
青森県立むつ工業高等学校（3）



職場体験の様子

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

当社はエネルギーという暮らしに欠かせない商品を取り扱っており、緊急時には地域住民の暮らしを守ることのできる大切な仕事であることを実例（東日本大震災時にも非常用発電機を使い燃料を供給してきたこと）を交えながら紹介しています。生徒には会社の社会的役割についても理解してもらえよう努めています。

### 3 工夫している点

学校担当者と事前打ち合わせを行い、打ち合わせ内容については、社員で共通理解を図っています。生徒はガソリンスタンドを利用することがほとんどなく、こちらから説明を行っても中々理解していただくことが難しいため、説明をする際には事前にスライドを準備をして、生徒たちが理解しやすい説明を心掛けています。

また、子どもたちに対しては、ガソリンスタンドでは危険物を取り扱うので、その危険性や働く上で注意しなければならないことについて、事前に説明を行ってから活動に取り掛かるようにしています。

## 10 株式会社 八幡馬（八戸市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《出前授業》

八幡馬の作り方や道具の使い方、模様の意味の説明、八幡馬の歴史、旧型八幡馬を作っている大久保直次郎氏についても紹介しています。

また、実際に色付け体験も行っています。

- R1 八戸市立城下小学校（62）
- 八戸市立長者小学校（61）
- 八戸市立八戸小学校（34）
- 八戸市立日計ヶ丘小学校（7）
- 南部町立福田小学校（31）



出前授業の様子

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

100年以上前から八戸地方で作られている民芸品であり、青森県伝統工芸品にも指定されている八幡馬。制作しているところは現在2社（弊社と個人の大久保氏）しかなく、制作に関わっている人数も減少しているのが現状です。

伝統文化の継承には「知ってもらおう」、「興味を持ってもらう」、「触れてもらう」ということが大事と考え、小学校の授業で行われている「地域の産業」と合わせて講話と体験指導を行っています。

自分たちの住む地域の歴史や伝統の学びから郷土愛を育み、良い地域社会を構築する人材育成の一助になればと考えています。

### 3 工夫している点

子供たちからの質問と回答はデータベース化し、担当者が変わっても対応できるようにしています。

また制作体験の指導については、学校の規模や人数、児童の個性や先生の考え方などで使える時間や最終的な出来栄（ゴール）も変わってくるため、事前に打ち合わせをした上で、子どもたちが楽しい時間になれるよう備品や道具の準備をしています。

## 1 1 株式会社 山匠電気工業 (八戸市)

### 1 活動内容及び実績 ※ ( )内は参加人数

#### 《職場体験》

電気工事に関わる仕事についてや、職場で働くことについて説明をして、働くことの意味について考える機会を設けています。

また、実際に電気工事に関する様々な体験をさせています。

R1 青森県立八戸工業高等学校 (30)

八戸工業大学第一高等学校 (1)

※デーリー東北主催の「わくわく八戸」に参加して、小中学生に職業体験を行いました。



職場体験の様子

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

電気工事業がすべての人に豊かさや快適さ等、暮らしや安全を支える仕事であることを説明し、社員一人一人がお客様ファーストの気持ちで仕事をしていることを伝えています。

「自己を成長させ、人の役に立つ」という考え方のもと、若者の仕事や社内・社外研修を通じた成長を促し、より豊かな人間性を育み、保護者にこの会社で働かせてもらってよかったと思っていただけるよう働きかけています。

### 3 工夫している点

当社で大事にしている『心の豊かさ(心の成長)』については、「山匠に入って得られた成長の話」や「どこに行っても絶対に好きな業務だけでなく苦手なこともある」といった話をするすることで、生徒に仕事をするこの意味等についても理解していただくようにしています。

スライド上映をする際には、社員の働く様子や工事写真を多めに使用し、会社の雰囲気や電気工事のイメージが湧きやすいような説明を心掛けています。また、都市部と地方での環境や働き方の違いをデータを元に伝えるようにしています。

## 1 2 日本ユニシス株式会社 東北支店（仙台市）

### 1 活動内容及び実績 ※（ ）内は参加人数

#### 《出前授業》

先端技術を体験してもらうために当社の総合技術研究所で行っているテーマの中からなるべく子供たちに理解してもらえるような技術を選定し、子どもたちに体験していただいています。

H21～青森県内小学校で出前授業を開催  
R1 青森市立泉川小学校



出前授業の様子

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

ユビキタス技術に興味を持つ子どもたちが増えることで、業界全体の広がりにつなげたいと考えております。特に青森の子どもたちに、ユビキタス技術に触れてもらうことで、将来的に地域課題を解決するような人財に育つことを期待しています。

また当社としては、技術的先入観のない子どもたちの意見をもらうことで新たな気付きにつながっています。

### 3 工夫している点

なるべく製品になっていないものを研究中の技術などから選定し、できるだけ多くの子どもたちに体験してもらうようにしています。特に、持ち込む技術によっては2グループに分かれて活動を行ったり、モニターを活用して体験の様子を見ていただくことで、体験していない子どもたちにも分かってもらうようにするなどの工夫をしています。

## 13 KDDI株式会社 東北総支社 (仙台市)

### 1 活動内容及び実績 ※ ( )内は参加人数

#### 《出前授業》

「KDDI スマホ・ケータイ安全教室」は、初級・初中級・中級・上級コースに分かれており、小学校から高等学校の生徒まで、幅広く受講していただいています。

また、対象学校の保護者向けにも、保護者コースを用意しています。

R1 出前授業56回、参加者7,363人

### 2 目的、方針や社内の組織・体制

「KDDI スマホ・ケータイ安全教室」は、子どもたちがケータイ電話等を利用する際に守ってほしいルールやマナー、覚えてほしいスマホ・ケータイやインターネットに関わるトラブルや事件・事故の事例を紹介し、子どもたちが自らの判断でリスクを回避する能力を身に付けていただくために、学校などへ伺って実施しているものです。

また、模擬講座動画のご視聴やご利用、教材のダウンロードが可能です。(教材DVDの貸出も実施)

当社社員・グループ会社社員が社内講師認定資格を保持し、申込みいただいた全国の学校へ訪問しています。

### 3 工夫している点

「KDDI スマホ・ケータイ安全教室」へ申込みいただいた学校と希望日時で調整可能な限り講師を伺わせ、講座を実施しています。

講座実施日の約4週間前頃には、事前打ち合わせの連絡を差し上げ、学校からの希望や実際のトラブル等をヒヤリングし、講座内容に付加して講座を実施します。実施後には任意で講座に関する評価をアンケートで回答いただくようお願いしており、今後の講座改善等の参考にさせていただいています。

また、日々発生するSNSトラブルの内容・ゲーム依存・課金問題・SNS投稿による各種犯罪などの情報を基に、講座用説明資料のブラッシュアップも年度単位で行っています。

